

令和6年度有田川町青少年育成町民会議主催

有田川町少年メッセージ

優秀作品（順不同・敬称略）

最優秀賞

「気持ちを言葉にのせて」

石垣中学校2年 上西彩友

優秀賞

「気づき」を「動き」へ」

吉備中学校1年 嘉成潤羽

「止まった時と空」

八幡中学校2年 福島楓

「ほととぎす 逆れ、未来の夢へ向かって」

吉備中学校3年 都築健

入賞

「もっともつと心をみがいて」

石垣中学校1年 畑乃暢

「チャレンジする心」

金屋中学校1年 張道いおり

「私に足りなかったもの」

吉備中学校2年 江川結月

「言葉の貯金箱」

八幡中学校3年 北垣内暖

「笑顔の輪」

吉備中学校3年 鳥淵優

「すぐ泣くばあちゃん」

吉備中学校3年 中松悠華

講評

有田川町少年メッセージ審査委員長
田殿小学校校長 森 早百合

今年は、町内4校から総数622作品の応募があり、そこから選出された23作品について審査を行いました。たくさんの方の力作を寄せてくださりありがとうございます。

さて、この有田川町少年メッセージは、次の世代を担う中学生の皆さまが、日常の生活の中で何を感じ、考え、未来に向かってどのような希望を抱いているのかを、自分の言葉で広く社会に向けて語ることににより、大人たちが中学生への理解と関心を深め、若い世代の育成を図ることを目的として行われています。

特に今年は、「言葉」に関することをテーマにした作品が多数ありました。厳選な審査を経て、優秀作品を選出し、8月25日（日）に有田川町少年メッセージ発表会を開催しました。ここで発表された作品は、ど

れもメッセージ性が高く素晴らしいものばかりで、中学生らしい素直で純粋な文章でありながらも、熱く強い思いや、優しく温かい「言葉」を使って、多くの人にメッセージを伝えようとしていることに大変感動いたしました。将来の夢や、挑戦する心、経験から学んだこと・考えたこと、家族のことなど、対象となった光景はさまざまでしたが、人と人の関わりの中で、特にSNSが主流となってきた現在、大人がはっと気付かせられるような中学生ならではの着眼点や、鋭い切り口で表現されていたことが、非常に嬉しく思うとともに、「言葉」の大切さを改めて考える良い機会となりました。これから先、どのような未来が待っているかは分かりませんが、中学生の皆さまの作品を通して、次世代への期待をさらに大きく、頼もしく感じることができました。

最後に、応募してくれた中学生の皆さまに感謝するとともに、来年度も素晴らしいメッセージを届けてくれることを期待いたします。